

令和5年度 高知大学海洋コア国際研究所

共同利用・共同研究成果発表会

プログラム

2月28日(水)

9:30-9:40 開会挨拶

- 高知大学 海洋コア国際研究所 所長 佐野 有司
- 地球掘削科学国際研究拠点 共同利用・共同研究 課題選定委員会 委員長 山本 正伸

9:40-11:10 (座長：岩井 雅夫)

O-01 9:40-9:55 「過去数世紀の西部北極海環境の高時間解像度復元」

山本 正伸 (北海道大学), 清家 弘治 (産業技術総合研究所), レオニド・ポリアク (北海道大学), ローラ・ゲメリ (米国地質調査所), ヨンジン・ジョ (韓国極地研究所), 内田 翔馬, 小林 稔 (北海道大学), 小野寺 丈尚太郎 (海洋研究開発機構), 村山 雅史 (高知大学), 鈴木 健太 (千葉工業大学), レナータ・スザレク, 入野 智久 (北海道大学), 山田 桂 (信州大学), 永淵 修 (福岡工業大学), 中澤 暦 (富山県立大学), 山本 裕二 (高知大学), 堀川 恵司 (富山大学), 安藤 卓人 (秋田大学), 加 三千宣 (愛媛大学), 菅沼 悠介 (国立極地研究所), 大森 貴之 (東京大学), 完新世北極古環境研究チーム

O-02 9:55-10:10 「霞ヶ浦における過去 5000 年間の古環境変遷」

山田 桂, 平野 友心, 渡邊 千隼 (信州大学), 多田 賢弘, 多田 隆治, 鈴木 健太 (千葉工業大学), 香月 興太 (島根大学), 唐 双寧 (信州大学)

O-03* 10:10-10:25 「Subfacies determination of the central basin facies in the Holocene incised valley fills of Paleo-Shinji Bay using geochemical micro-XRF (Itrax) data from the HK19 core, Izumo Plain, Shimane Prefecture, Japan」

Aan DIANTO, Tetsuya SAKAI, Kota KATSUKI, Koji SETO (島根大学), Toshimichi NAKANISHI (ふじのくに地球環境史ミュージアム), Yoshiki SAITO (島根大学)

- O-04 10:25-10:40 「浮遊性有孔虫を用いた沖縄トラフにおける氷期/間氷期の古環境復元」
前田 歩 (東京大学)
- O-05 10:40-10:55 「既存の Itrax 結果から元素濃度を知るために ～日本海を例とした標準試料測定結果～」
関 有沙 (信州大学), 多田 隆治 (千葉工業大学), 黒川 駿介, 三武 司 (東京大学)
村山 雅史 (高知大学)
- 10:55-11:10 討論

11:20-12:30 (座長 : 氏家 由利香)

- O-06 11:20-11:35 「北部北上帯ジュラ紀付加体中の遠洋深海堆積岩中の石炭系ーペルム系境界のコノドン化石層序」
武藤 俊 (産業技術総合研究所), 高橋 聡 (名古屋大学), 村山 雅史 (高知大学)
- O-07 11:35-11:50 「海底堆積物に産出する珪藻化石のタクサゴとの分離手法の開発」
加藤 悠爾 (高知大学), 諸野 祐樹 (海洋研究開発機構), 井尻 暁 (神戸大学), 寺田 武志 (マリン・ワーク・ジャパン), 池原 実 (高知大学)
- O-08* 11:50-12:05 「北海道の中部更新統馬追層におけるホタテガイとトウキョウホタテガイの殻成長特性」
吹本 樹, 近藤 康生 (高知大学), 圓谷 昂史 (北海道博物館), 鈴木 明彦 (北海道教育大学), 池原 実 (高知大学)
- O-09 12:05-12:20 「ナノプラスティック暴露時の有孔虫培養株 *Ammonia veneta* の継時観察及び遺伝子発現解析」
石谷 佳之 (海洋研究開発機構), Caterina CIACCI (ウルビノ大学),
氏家 由利香 (高知大学), 野牧 秀隆 (海洋研究開発機構), Fabrizio FRONTALINI
(ウルビノ大学)
- 12:20-12:30 討論

13:30-15:00 (座長：奥村 知世)

- O-10 13:30-13:45 「信州木崎湖から見出された 2007 年以降に形成されたイベント堆積物」
伊藤 拓馬 (沖縄国際大学), 朴 虎東, 浦井 暖史 (信州大学)
- O-11* 13:45-14:00 「西暦 869 年貞観津波の浸水域高精度復元に向けた津波痕跡の統合分析」
古明地 海杜 (東北大学), 篠崎 鉄哉 (国立歴史民俗博物館), 菅原 大助, 石澤 堯史 (東北大学), 池原 実 (高知大学), 藤野 滋弘 (筑波大学)
- O-12* 14:00-14:15 「宮崎県延岡市島浦島における地球化学分析による津波堆積物の識別」
杉原 和, 山田 昌樹 (信州大学), 篠崎 鉄哉 (国立歴史民俗博物館), 金子 稜 (信州大学)
- O-13* 14:15-14:30 「弥陀ヶ原火山 (富山県) の完新世噴火履歴解明のための地獄谷縞状湖沼堆積物の解析」
金内 亜紋, 石崎 泰男, 石川 尚人 (富山大学)
- O-14* 14:30-14:45 「海を渡った幸屋火砕流の定置温度の推定」
飯澤 彩羽, 辻 智大 (山口大学), 山本裕二 (高知大学)
- 14:45-15:00 討論

15:10-16:20 (座長：浦本 豪一郎)

- O-15* 15:10-15:25 「長崎県中新統五島層群における泥岩層の堆積場復元」
高橋 宏明, 清川 昌一 (九州大学), 安永 雅 (株式会社東京ソイルリサーチ)
池端 雄太 (大日本ダイヤコンサルタント株式会社), 高畑 直人 (東京大学)
- O-16 15:25-15:40 「ICDP 南アフリカ金鉱山地震発生場掘削計画 (2022-2023 年度)」
小笠原 宏 (立命館大学), 矢部 康男 (東北大学), 大場 誠也, 濱垣 貴也, 馬場 喜生
小川 巧太郎 (立命館大学), DSeis チーム
- O-17 15:40-15:55 「東部インド洋における鉛同位体比南北断面分布」
則末 和宏, ロジュバリー シバ, 深澤 徹 (新潟大学), 小畑 元 (東京大学), 岡村 慶 (高知大学), 永石 一弥 (マリン・ワーク・ジャパン), 石川 剛志 (海洋研究開発機構)

O-18 15:55-16:10 「プチスポットパイプを活用しての、海洋マントル採取を目指す、ライザーレス掘削」
石井 輝秋 (静岡大学), 平野 直人 (東北大学), 秋澤 紀克 (東京大学), 金子 誠 (深田地質研究所), 町田 嗣樹 (千葉工業大学)

16:10-16:20 討論

16:30-17:30 (ポスター発表)

P-01 「四国沖 SCORE 掘削で得られた C9037B コアの堆積年代」
池原 実 (高知大学), 佐川 拓也 (金沢大学), 久保田 好美 (国立科学博物館), 堀川 恵司 (富山大学)

P-02* 「陸上に露出する巨大分岐断層の断層岩の産状変化および摩擦発熱温度評価」
山影 明加, 向吉 秀樹 (島根大学)

P-03 「東青ヶ島海底熱水性重晶石の年代測定」
豊田 新 (岡山理科大学), 石橋 純一郎 (神戸大学), 角本 美優 (岡山理科大学), 野崎 達生 (海洋研究開発機構)

P-04* 「沖縄県国頭郡大宜味村に位置する露頭における岩石風化過程」
山口 季彩, 杉山 春来, 箴島 聖二, 吉田 孝紀 (信州大学)

P-05* 「古土壌を用いた古環境比較：東北日本常磐地域の古第三系始新統-漸新統と新第三系下部中新統を例に」
杉山 春来, 吉田 孝紀 (信州大学)

2月29日(木)

9:30-10:40 (座長：池原 実)

O-19 09:30-09:45 「西オーストラリア, 31 億年前のクリバービル縞状鉄鉱層の堆積作用」
清川 昌一, 井口 祐輔, 石川 浩平 (九州大学)

O-20* 09:45-10:00 「西オーストラリア，ピルバラ地域の縞状鉄鉱層における堆積初期物質とリン鉱物の挙動について ～TEMによる微細鉱物の観察と同定～」
井口 祐輔，清川 昌一，武田 侑也，上原 誠一郎（九州大学）

O-21* 10:00-10:15 「有孔虫の酸素同位体比に基づく過去 10,000 年間の下北半島東方沖の古環境推定」
酒井 恵祐，大串 健一（神戸大学），池原 実（高知大学），木元 克典（海洋研究開発機構），内田 昌男（国立環境研究所）

O-22 10:15-10:30 「フィリピン沿岸表層の鉛起源の推定と時系列変動の復元について」
井上 麻夕里，定秀 陽果（岡山大学），永石 一弥（マリン・ワーク・ジャパン）
石川 剛志（海洋研究開発機構）

10:30-10:40 討論

10:50-12:00（座長：山本 裕二）

O-23 10:50-11:05 「根尾谷断層掘削コアにおける最新すべり面のコアロギング」
大谷 具幸，青木駿典，岡田直也，吉田拓海（岐阜大学）

O-24 11:05-11:20 「X線CTを利用した琉球石灰岩内部の間隙構造の評価」
倉澤 智樹，小川 凧人，小林 範之（愛媛大学）

O-25 11:20-11:35 「レス・古土壌試料を用いた土壌性磁性鉱物生成の水熱実験」
兵頭 政幸（神戸大学），瀬戸 雄介（大阪公立大学），ブラダック・バラージュ（神戸大学）

O-26 11:35-11:50 「松山ーブリュンヌ境界における古地磁気変動と気候変動」
加藤 茂弘（兵庫県立人と自然の博物館），兵頭 政幸（神戸大学）

11:50-12:00 討論

12:00-12:10

学生優秀発表賞表彰式・閉会挨拶

高知大学 海洋コア国際研究所 副所長 岩井 雅夫

(* 学生発表賞の審査対象者です)

(※ 共同利用・共同研究は，国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）の協力を得て実施されています。)